

NTTグループの無電柱化における 低コスト化の取組み

平成30年5月25日
東日本電信電話株式会社

1. 電線共同溝のコンパクト化／引込管路の共用化

電線共同溝のコンパクト化や共同施工の推進による低コスト化に取り組んでいます。

① 電線共同溝（管路部）のコンパクト化

電線共同溝の掘削断面を減少し、コスト削減や工期の短縮、適用箇所拡大に貢献

東京都 H16より適用開始

1管1条方式 H7~H10	共用FA方式 H16~	1管セパレート方式 H21 導入
		
掘削土量比=100%	73.3%	68.9%

国土交通省の技術開発にNTTグループで協力
単位: mm

② 電線共同溝（特殊部）のコンパクト化

特殊部内へ人が立入らずに地上で接続作業を可能としたことで、特殊部の寸法を大幅に縮小し、工事費を削減

東京都 H16より適用開始

特殊部内でのケーブル接続作業



地上での接続作業



③ 引込管路の共用化

お客様宅へ通信線を引込むための管路を複数事業者と共用化することで工期短縮、繰返し工事の抑制、家屋の美観向上にも繋がります。お客様のメリットが大きい。

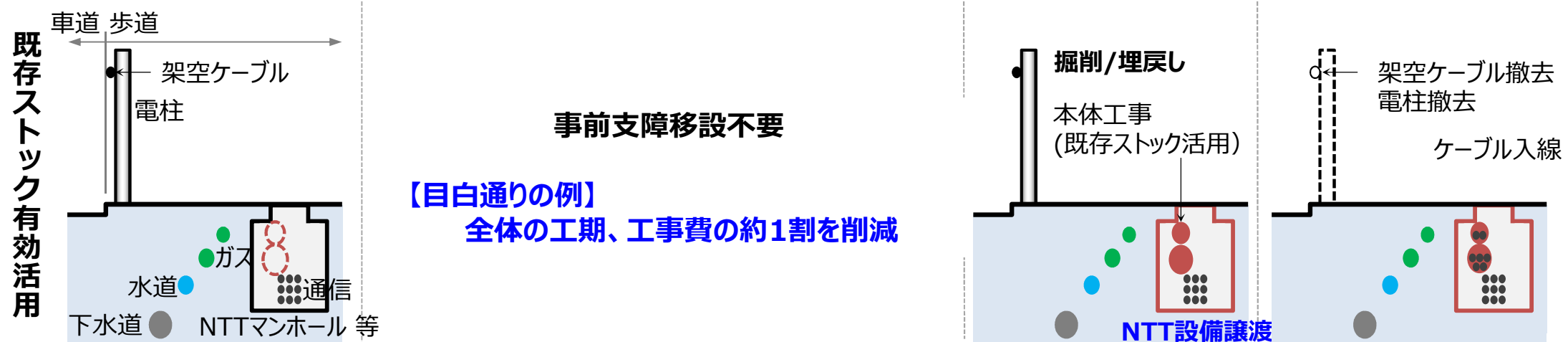
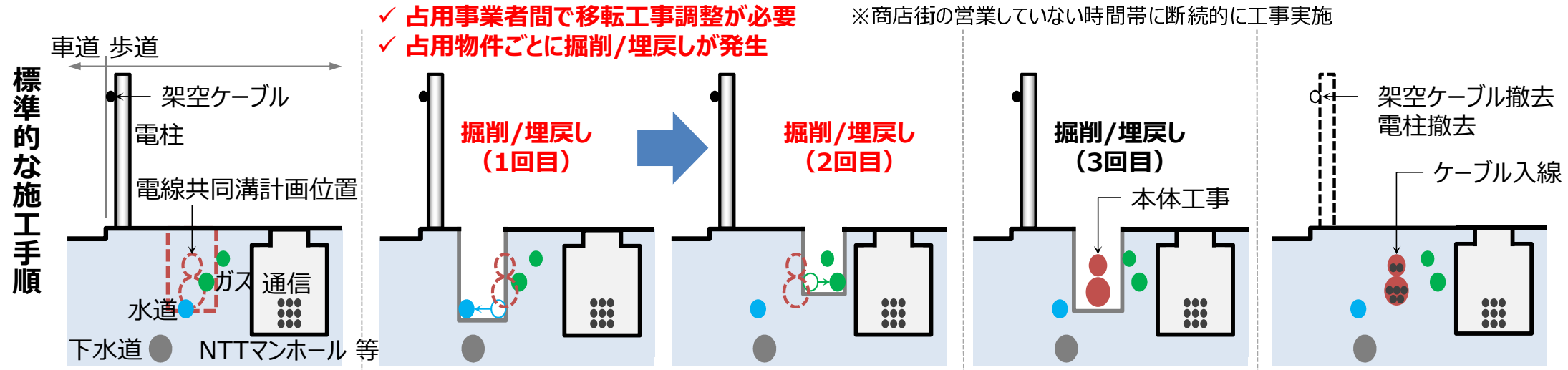
東京都 H17より適用開始



2. 既存ストック（NTTのマンホール・管路）の有効活用

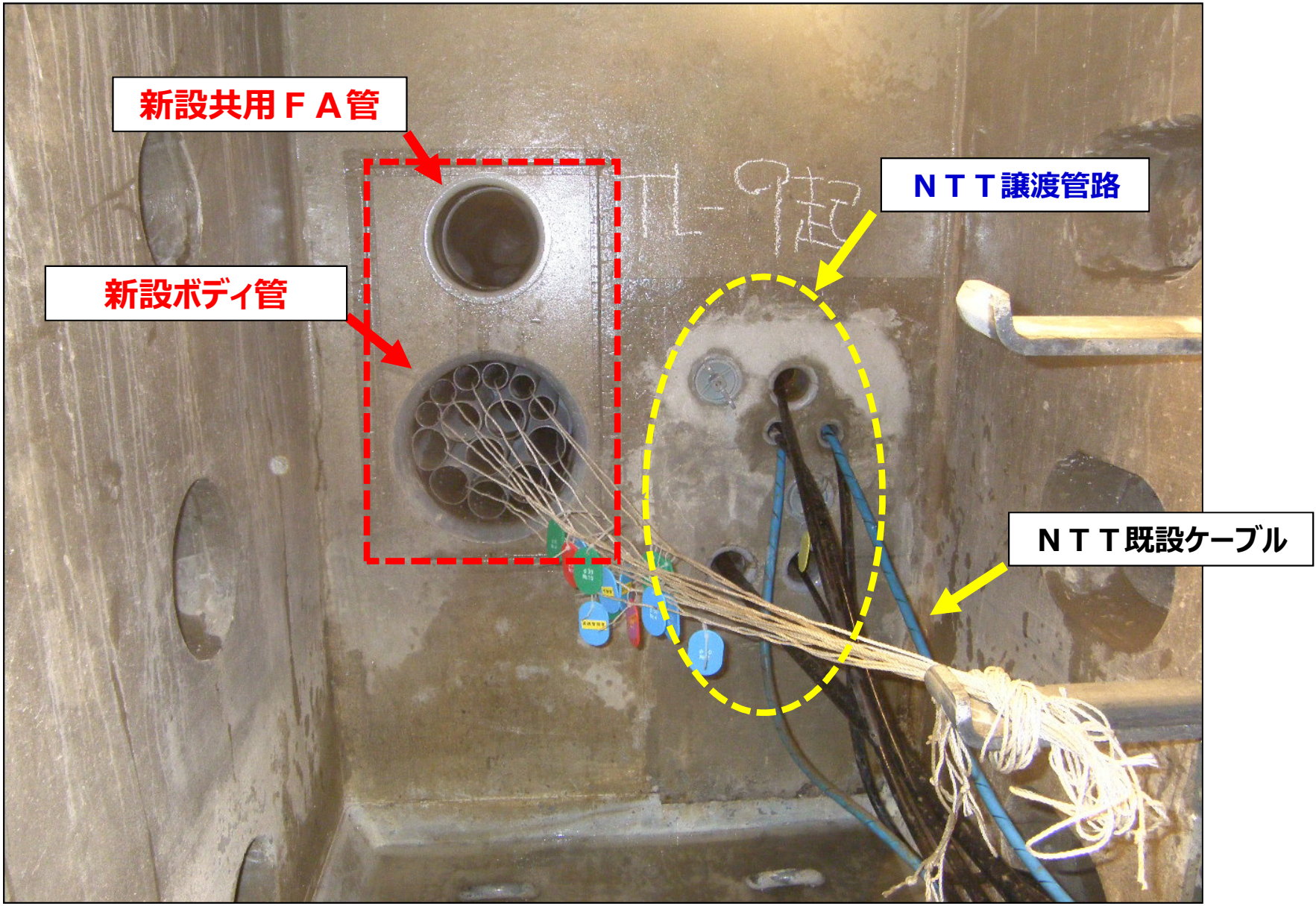
- ✓ 電線共同溝の新設にあたり、NTTのマンホール・管路等を電線共同溝として活用頂くことで、工期短縮、工事費削減を実現（東京都の活用実績：目白通り、浅草通り等 20路線 15km）
- ✓ H30年度は、環状七号線、目黒通り等の8路線で既存ストックを活用した工事を実施予定

凡例： ● 電線共同溝(通信) ● 水道 ● ガス ● 下水道 ● 通信



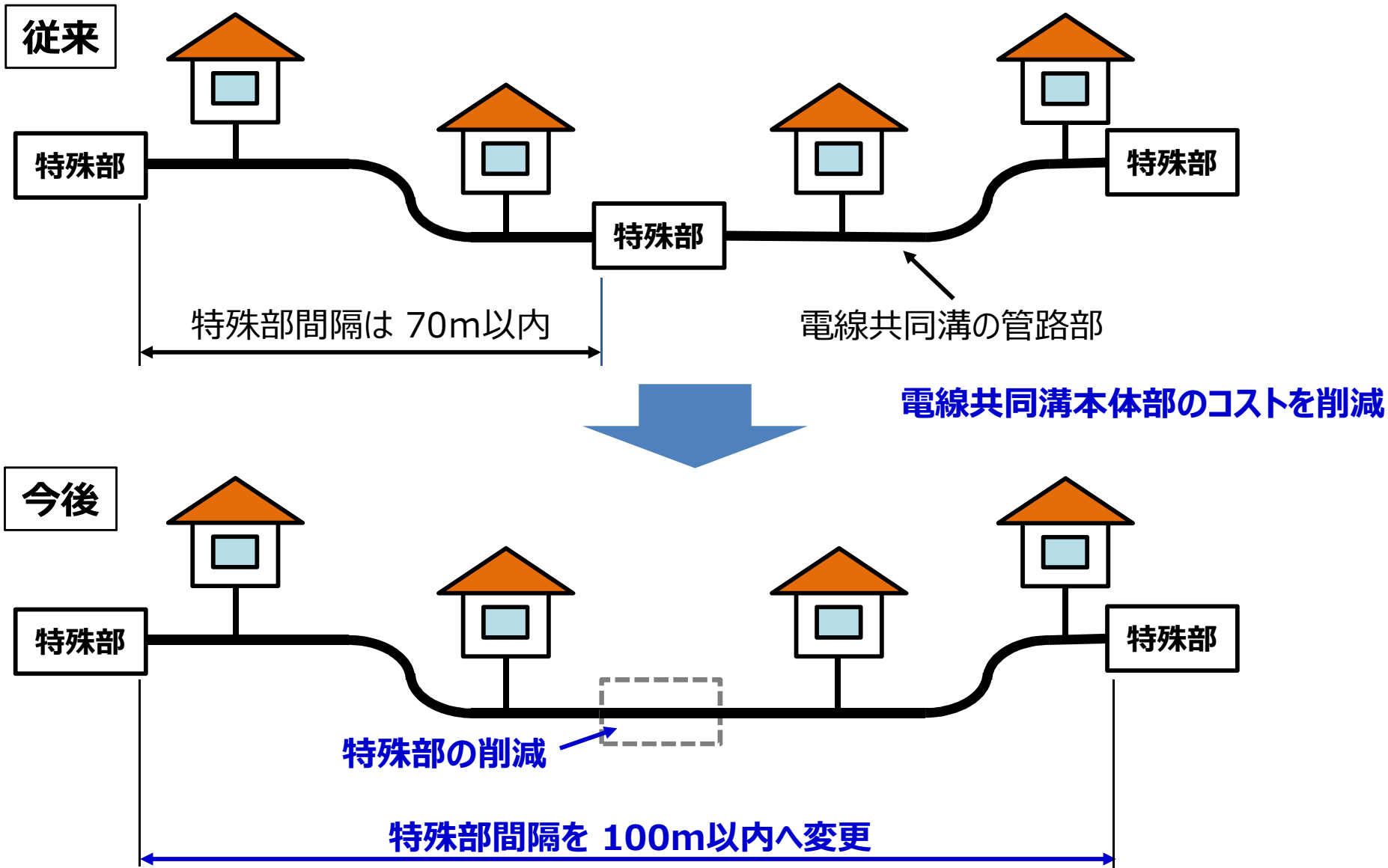
参考. 既存ストック (NTTのマンホール) の活用事例

■ 共用 F A 方式にて活用



3. 特殊部間隔の延長化（東京都と共同検証）

- ✓ 実物大のモデルを構築し、「特殊部間隔の長延化」によるコスト削減に向けた検証を実施
- ✓ 東京都電線共同溝マニュアルへ反映（平成30年4月）





NTT
東日本

つなぐ、を、つよく。